

2020年12月17日



各位

株式会社FRONTEO
代表取締役社長 守本正宏
(コード番号: 2158 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 上杉知弘
電話番号 03-5463-6344

シンジケートローン契約締結に関するお知らせ

当社は、2020年12月17日開催の臨時取締役会において、株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結することについて、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. シンジケートローン契約の概要

(1) 組成金額	2,232百万円
(2) 契約形態	タームローン
(3) 契約締結日	2020年12月21日(予定)
(4) 実行日	2020年12月24日(予定)
(5) 借入期間	5年間(2020年12月24日~2025年12月24日)(予定)
(6) アレンジャー	株式会社三菱UFJ銀行
(7) 参加金融機関	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行

2. シンジケートローン契約締結の背景・理由

当社は、2015年12月に、米国eディスカバリベンダー(現FRONTEO USA INC.)の株式取得資金として、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行の二行個別に、合計4,229百万円(為替レートを\$1=123.48円で換算)の借入を行いました。返済期間は10年間の前提で、契約は5年契約とし、5年後の2020年12月に、更に5年間の契約更新を想定しておりました。

2015年12月から本日まで、順調に計画通り約定返済を行い、予定通り、更新時期を迎えました。更新に際し、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行による当社への協力体制をより明確化することを目的として、株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとして、二行でシンジケートの体制へ変更の上、予定通り、5年間の更新を行うことで合意されました。

3. 本件契約締結の効果

2020年11月16日の「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」で公表した通り、2020年12月2日に総額799百万円の払込が行われたことで流動資産が増加しました。

加えて、本件契約締結（本件ローンの実質的な更新）により、流動負債の1年内返済予定の長期借入金1,786百万円が、固定負債である長期借入金へと振り替えられることとなります。

この結果、流動比率（流動資産と流動負債のバランス）が高く算出されることになり、当社の財務体質は大幅に改善されます。

4. 今後の見通し

本借入による2021年3月期の業績に与える影響は軽微であります。今後、業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

参考) 当期連結業績予想（2020年5月20日公表分）及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (2021年3月期)	11,000百万円	200百万円	97百万円	10百万円
前期実績 (2020年3月期)	10,470百万円	△844百万円	△992百万円	△929百万円